あなただけの『開運』+『健康』祈願ペンダントを!!

『十二支守り本尊ペンダント』

商品番号 298 ■価格 9,800円（税込）

■サイズ（約）：横22×縦40mm／重量：約9.5g／材質：チタン、ゲルマニウム99.99%／色：メタリックシルバー／チェーン：45、50cm（2段階）、ステンレス

※ご注文の際は干支（えと）をご指定ください。

宝くじスクラッチプレゼント

★もれなく、当選率の高さで話題の東京・日本橋の水天宮チャンスセンター窓口で購入した『宝くじスクラッチ』を一枚プレゼントします。

数に限りがあります。お申し込みは今すぐ!!

お申し込みは、右下の要領でハガキに必要事項をご記入のうえポストへ。お急ぎの方はお電話、またはファックスでどうぞ。●商品はお申し込み受付後、1週間以内にお届けします。●代金のお支払いは、到着時にお支払いできる便利な代引払いです。※送料は全国一律840円です。●お求めの商品が、万一、お気に召さない場合は8日以内なら交換・返品も承ります。その場合、返送料はご負担ください。

〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町2の4の10 ㈱ベストショップ 日刊工業新聞ペンダント係

商品番号・商品名 干支（えと）・個数 ①〒住所 ②氏名（フリガナ） ③電話番号（必ずご記入ください） ④年齢・職業（お差し支えなければ）

●お急ぎの方はお電話（フリーダイヤル）で!! 0120-818-575（年中無休/午前9時～午後10時）

●ファックス（24時間受付） FAX 03-5649-9758

●インターネット・ホームページ tokyo-tuuhan.com

確かなものをお届けして30年 株式会社ベストショップ 〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町2-4-10

健康チタン/健康ゲルマに、あなたの守り本尊と般若心経の経文が!!

人体との親和性が高く、金属アレルギーの方でも安心のチタニウムでできたペンダントの表には、生まれた干支にまつわる**守り本尊の八尊仏**とそれを表す**梵字**が刻まれています。梵字とは、仏教の原点が記された古代印度の言語、サンスクリット語に使われた文字をさし、なかでもこの8種類の梵字はそれぞれ一字で**御仏の功徳**をあらわすとされ、それぞれが干支の守り本尊とされる文字なのです。

そして裏面には、古来よりお守りとして重んじられてきた**般若心経**の276文字と、生まれ年の**干支**（えと）**の動物**が刻まれ、東西南北の四隅に配された四個の**ゲルマニウム**（純度99・99%）がはめ込まれており、直接肌に触れることであなたの**健康維持**が期待できます。

ファッション感覚も満点!

守り本尊とお経の力に、**いま話題**のゲルマニウムのパワーが加わって、**運気と健康**を願え、胸元であなたを守ってくれる、話題のペンダント。付属のチェーンは45センチと50センチの二通りに使え、**襟元のファッション**に合わせた使い方ができます。

愛用者が続々と!! プレゼントにも好適!

胸元で運と健康を願うお洒落

●**軽くて丈夫** 見た目のボリュームの割に軽いので着けていることが気になりません。

●**優れた耐久性** 海水浴、温泉、プールで使用しても変色せず、いつまでも新品の輝きを保ちます。

感謝＋感激のペンダント 鈴木 治さん（横浜市・26歳）

私の誕生日に、彼女から「健康と開運を祈って」とプレゼントされたペンダント。見た目にも格好よく、心地よい重量感、なによりも私だけの守護神が胸元にあるとは。それ以来、身体はピンピン、何故かギャンブルも連戦連勝！まさか？と信じられない程、このペンダントに感謝感激です。

吉運招福 開運祈願・長寿祈願・無病息災祈願・家内安全祈願・良縁平和祈願

十二支守り本尊ペンダント

男女兼用

日本映画黄金時代の傑作・名作を一挙に揃えたプレミアム全集が、いま、あなたのお手元に!!

嗚呼感涙!! とっておきの日本映画

日本映画ここにあり。と云われた、そんな、今も語り継がれる想い出の昭和の名作・傑作を一堂にまとめて届けします。

映画が社会に大きな影響力が持っていた時代、多くの日本人を熱狂させた娯楽大作や、総合芸術として深い感動を与えた文芸作品、スターが一番輝いていた時代の、まさに名作の数々。今も絶賛される映画史にその名を刻む選び抜かれた代表作品が、いま、あなたの目の前で、懐かしくも鮮やかに甦ります。最新の高画質DVDですから何度でも当時の感動を、ご自宅で味わえます。

プレゼントのある、この機会をお見逃しなく、お申し込みください。

1週間以内にお届けします。

お申し込みは、右下の要領でハガキに必要事項をご記入のうえポストへ。お急ぎの方はお電話、またはファックスでどうぞ。●商品はお申し込み受付後1週間以内にお届けします。●代金は、到着時にお支払いできる便利な代引払いでお願いします。※送料は全国一律840円です。●お求めの商品が、万一、お気に召さない場合は8日以内なら交換・返品も承ります。その場合、返送料はご負担ください。（開封後の返品はお受けできません）

※取得した個人情報は本来の目的以外には使用いたしません。

〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町2の4の10 ㈱ベストショップ 日本映画ベスト全集係

●商品番号 ●商品名 ①〒住所 ②氏名（フリガナ） ③電話番号（必ずご記入ください） ④年齢・職業（お差し支えなければ）

●お急ぎの方はお電話（フリーダイヤル）で! 0120-818-575（受付時間／午前9時～午後10時）

●ファックス（24時間受付）でもどうぞ! FAX 03-5649-9758

株式会社ベストショップ 〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町2-4-10

特典プレゼント贈呈

今回のご注文の方にもれなく、昭和の大スターで今もファンの多い市川右太衛門の代表作『天狗飛脚』（昭和24年）のDVDをプレゼントします。

商品番号 JR4『日本映画ベスト20全集』 ●DVD全20巻セット ●ドルビー・ディジタル ■特価 18,000円

限定100セット 稀少価値の高い もう一度見たい!! ベスト日本映画

商品番号 JR2『懐かしの日本映画ベスト10』■特価 10,000円

『地獄門』 衣笠貞之助監督作品
主演：長谷川一夫、京マチ子 1953年（89分）

当時日本映画最高と云われた超大作。豪華絢爛の総天然色（カラー）の大ヒット作品。1954年度のカンヌ国際映画祭のグランプリ受賞作品である。他にも米国アカデミー賞において名誉賞と衣装デザイン賞（和田三造）を、ニューヨーク批評家協会賞において外国映画賞を受賞している。菊池寛の「袈裟の良人」を衣笠貞之助が監督、永田雅一が製作した作品である。平安時代の末期、反乱の最中に出会った人妻（京マチ子）に惚れてしまった男（長谷川一夫）が……

『人情紙風船』 山中貞雄 監督作品
主演：中村翫右衛門、河原崎長十郎 1937年（86分）

山中貞雄監督の遺作にして代表作である。江戸時代の長屋を舞台に、住人たちの人間模様を描いた作品。全体的に悲しいトーンで描かれており、厭世的な雰囲気のある作品であるが、長屋の住人達の生き生きとした生活描写や美しく引き締まった構図、観る者をぐんぐんと引き込んでいくストーリー構成など、何度観ても見飽きることの無い作品である。黒澤明「羅生門」小津安二郎「東京物語」に匹敵する傑作であると押す邦画ファンの声も多い、日本映画の傑作である。

『狐の呉れた赤ん坊』 丸根賛太郎監督作品
主演：阪東妻三郎、橘公子 1945年（85分）

坂東妻三郎主演の人情時代劇。気が荒く、暴れ者で酒飲みの男がひょんなことから捨て子を育てることになる。最初は厄介がっていたが、育てていくうちに情がわき、やがて酒と博奕と喧嘩から足を洗い、善太と名付けた子供の良き父親になるのだったが…六年後のある日…。坂東妻三郎の表情豊かな生き生きとした演技と、魅力あふる脇役達、戦後の何も無かった時代だからこそ丁寧に練り上げられた脚本は今見ても決して古びることは無い。素晴らしい感動作である。

『銀座化粧』 成瀬巳喜男監督作品
主演：田中絹代、香川京子 1951年（87分）

銀座のバーで働きながら、一人息子を育てている主人公（田中絹代）を中心に、その妹分（香川京子）や元同僚（花井蘭子）などの様々な女の人生を描いた作品である。夜中にお店に花やお土産を売りに来る子供達も登場し、終戦からまだ間もない頃、子供達も働かなければ生活できなかった時代だということが映像を通じて伝わってくる。しかし、母が働きに出ている間、一人で食事したり、自分で布団を敷いて寝たりする幼い子供も、そして主人公も前向きに明るく生きており……

『丹下左膳』 山中貞雄監督作品
主演：大河内傳次郎、喜代三、、1935年（92分）

林不忘原作の「丹下左膳」は、伊藤大輔・マキノ雅弘などの名監督達により過去にも何度も映画化されているが、同じ大河内傳次郎が主演している丹下左膳シリーズの中で、山中貞雄が監督したこの作品は、それまでのチャンバラ映画から、左膳を中心にした人情喜劇に見事に変貌している。ある小藩に伝わるこけ猿の壺、その壺の中には先祖が隠した百万両のありかが示されていた。

『風雲児信長』 マキノ正博監督作品
主演：片岡千恵蔵、高木永二 1940年（91分）

戦国時代の風雲児織田信長の青春時代を片岡千恵蔵が熱演した作品である。吉法師と呼ばれ、領民からもうつけと馬鹿にされていた若き日から、今川義元との桶狭間の合戦前夜までの生涯を丹念に描き出す。若き日の片岡千恵蔵の荒々しい魅力が存分に発揮された作品である。またこの作品の公開されたのは日米開戦前年であり、「尊王」という言葉が多く使われているのが時代の投影を感じさせる。

『七つの顔』 松田定次監督作品
主演：片岡千恵蔵、轟夕起子 1946年（81分）

劇場の火事騒ぎの最中、一人の歌手が誘拐され、身に着けていたダイヤのネックレスが奪われるという事件が起こる。ネックレスの持ち主から責任を追及され、追いつめられた歌手の前に現れたのは、多羅尾伴内と名乗る一人の私立探偵であった…。戦後GHQによってチャンバラを禁止された時代劇の大御所、片岡千恵蔵が、刀を二挺拳銃に持ち替え、大ヒットを飾った「多羅尾伴内シリーズ」の記念すべき第一作である。

『安宅家の人々』 久松静児監督作品
主演：船越英二、田中絹代 1952年（116分）

毎日新聞に連載された吉屋信子の小説の映画化。水木洋子の脚本により久松静児が監督した作品。時代を超えて人の心に訴えかけるテーマを持った作品である。生まれつきの精神薄弱者だが、美しい心を持つ安宅家の跡継ぎ宗一（船越英二）と結婚した国子（田中絹代）は、夫を補佐して、安宅家を立派に盛り通していた。しかし、宗一の異母兄弟である譲二（三橋達也）とその妻（乙羽信子）が同居することになり……

『雪夫人絵図』 溝口健二監督作品
主演：木暮実千代、山村聡 1950年（86分）

船橋聖一が「小説新潮」に連載した小説を溝口健二が映画化。旧華族出身の主人公雪（木暮実千代）は、直之（柳永二郎）を婿養子に迎えて結婚するが、直之は女遊びに出歩き財産を食い荒らす放蕩の毎日だった。雪には、心の支えとして、幼馴染の琴の師匠方哉（上原謙）がいたが、直之と離婚して方哉と一緒になる決心はつかなかった。心は方哉を身体は直之を求める女の性を、清純な娘浜子（久我美子）を登場させることによって、それぞれの複雑な関係を描いている。

『武蔵野夫人』 溝口健二監督作品
主演：田中絹代、森雅之 1951年（88分）

監督が代わって、演じる役柄が違うとこんなにも別人になりうるのかと改めて田中絹代という女優の凄さを見せ付けられる作品である。小津安二郎監督の「風の中の牝鶏」の常に夫の目を気にしている妻との映画における女たちの妻が同じ人物だとはとても思えない。武蔵野の良家出身の妻（田中絹代）とそれに引け目を感じている夫（森雅之）、妻の義理の弟（片山明彦）、隣に住む親戚の男（山村聡）とその妻（轟夕起子）を中心に展開される人間ドラマ。

商品番号 JR3『感動の日本映画ベスト10』■特価 10,000円

『お茶漬けの味』 小津安二郎監督作品
主演：佐分利信、木暮実千代 1952年（115分）

良家出身の妻（木暮実千代）といつも妻に馬鹿にされても自分のやりたいように振舞っている夫（佐分利信）。倦怠期を迎えたこの夫婦を中心に、彼らを取り巻く人々の人間模様を描いた作品である。淡島千景や津島恵子の美貌と共に、女性には、若かりし頃の鶴田浩二が観れるだけでも楽しめる作品かもしれない。題名の「お茶漬けの味」は、主人公の夫が、いつも遅く帰った夜に、女中に作ってもらって食べていた「お茶漬け」を映画のラストで、夫のことを見直した妻が……

『東京物語』 小津安二郎監督作品
主演：笠智衆、東山千栄子 1953年（136分）

日本映画の代表する傑作の1本。巨匠・小津安二郎監督が、戦後変わりつつある家族の関係をテーマに人間の生と死までも見つめた深淵なドラマ。故郷の尾道から20年ぶりに東京へ出てきた老夫婦。成人した子どもたちの家を訪ねるが、みなそれぞれの生活に精一杯だった。唯一、戦死した次男の未亡人だけが皮肉にも優しい心遣いを示すのだった…。いまでは失われつつある思いやりや慎ましさという“日本のこころ”とでもいうべきものを原節子が体現している。

『晩春』 小津安二郎監督作品
主演：笠智衆、原節子、月丘夢路 1949年（108分）

「東京物語」と並ぶ小津安二郎監督の代表作で、結婚をめぐる父親と娘を題材にした感動作である。笠智衆と原節子の共演第一作で、鎌倉を舞台に、妻を早くして亡くした大学教授の父と、27歳になってもそんな父親を一人残して嫁に行く気にはなれない娘……。父と娘の親子愛を中心に、二人を取り巻く人々の人間模様を、小津監督独特の手法で、淡々と描き、ラストシーンの京都の宿の、なんとも切ない万感の思い。

『麦秋』 小津安二郎監督作品
主演：原節子、笠智衆、淡島千景 1951年（124分）

結婚にあまり興味のない娘と、そんな娘に早く結婚してほしいと気を揉む家族を中心にさりげない日常をユーモアを織り交ぜ淡々と細やかに描く感動作。北鎌倉に住む間宮家では適齢期を過ぎた娘紀子の結婚が何より気がかり。当の紀子は大手の会社で秘書として働き、いまだのんきに独身生活を楽しんでいる風だった。やがて、そんな紀子に縁談話が立て続けに舞い込むのだったが……。子供も加わった明るい家庭劇。

『祇園囃子』 溝口健二監督作品
主演：木暮実千代、若尾文子 1953年（85分）

日本が世界に誇る映画監督・溝口健二が京都の花街・祇園を舞台に芸妓とそれを取り巻く人々の生態を細部まで徹底的に描き出した人間ドラマの傑作。祇園ではちょっと名の知れた芸妓・美代春の許に、母を亡くしたばかりの少女・栄子が舞妓志願にやってきた。やがて、1年間の舞妓修行を経て、初めて店に出た栄子。ほどなく大会社の御曹司・楠田に見初められる。一方、美代春も楠田の取引先である神崎から言い寄られるのだったが……

『西鶴一代女』 溝口健二監督作品
主演：田中絹代、三船敏郎 1952年（137分）

井原西鶴の「好色一代女」をもとに、溝口健二が構成を練り、依田義賢が脚本を書いた「雨月物語」と同じく後世の映画作家達に多大な影響を与えた溝口健二監督作品。1952年度のヴェネチア国際映画祭において、国際賞を受賞している。若くて美しい娘お春（田中絹代）が、転落していく様を、幸せになりかけては、破綻する人生を異常なくらい執拗に鮮明に描ききった溝口健二ならではの傑作である。常に美しく撮られることを求める女優が、醜い顔を晒さなければならないこの作品。

『魔像』 大曾根辰夫監督作品
主演：坂東妻三郎、山田五十鈴 1952年（98分）

大曾根辰夫監督作品「魔像」故林不忘の原作を鈴木兵吾が脚色した「大岡政談」ものである。千代田城御蔵番を勤める神尾喬之助は組与頭の戸部近江介に日々陰湿な嫌がらせを受けていた。近江介の懇想していた園絵を喬之介が娶ったことに対する嫉妬と、立場を利用して私服をこやしていることを清廉潔白な喬之介に咎められたことに対する逆恨みの為であった。

『愛妻物語』 新藤兼人監督作品
主演：宇野重吉、乙羽信子 1951年（96分）

新藤兼人の監督デビュー作で、妻を病気で失うシナリオライターが主人公の半自伝映画である。映画の中に登場する監督が、新藤兼人の師匠である溝口健二がモデルだと分かるし、貧しいシナリオライターを励まし続ける妻役を乙羽信子が演じているのも興味深い。映画人の気質や時代背景をバックに、何度もシナリオの書き直しを要求する一見非常な監督、夫が一人前のシナリオライターになれるよう陰で支え続ける妻。

『お遊さま』 溝口健二監督作品
主演：田中絹代、乙羽信子 1951年（95分）

「細雪」などで著名な谷崎潤一郎文学の映像化であり、京都を舞台にしていることもあって、背景さりげなく桜並木を配置したりと絢爛豪華な作品でもある。見合いの場で男（堀雄二）が一目ぼれしたのは、見合い相手（乙羽信子）ではなく付き添いの姉（田中絹代）の方だった。それに気づいた妹は、男に形だけの夫婦になることを提案し、結婚するが、それは姉のことを思ってのことだった。やがて、三人で旅行をしたり、伸良く外出をする姿が他人の噂に上がるようになり……

『雨月物語』 溝口健二監督作品
主演：京マチ子、森雅之 1953年（97分）

1953年度のヴェネチア国際映画祭で、監督の溝口健二がサン・マルコ銀獅子賞に輝いた作品、小津安二郎監督の「東京物語」と共に、日本映画を代表する作品と称されている。戦国時代、貧しい陶工（森雅之）は妻子（田中絹代）を捨て、美しい女（京マチ子）と暮らし始めるが、その女の正体に気づき、家に逃げ帰ってみると家には眠っている子供と妻が居たが、その妻は…。一方、出世欲から侍になろうとした男（小沢栄太郎）は、女郎に身を落とした妻（水戸光子）に出会い……